

中央・総武緩行線と東京メトロ東西線 車両故障

# 大規模輸送障害

対応されたすべての皆さん

大変お疲れさまでした



8月16日、三鷹車両センターを出入区した車両（緩行線用および東西線用）複数のパンタグラフが破損した影響で、中央・総武緩行線と東京メトロ東西線は終日にわたる大規模な輸送障害が発生しました。台風7号による悪天候のなか対応されたすべての皆さん、大変お疲れさまでした。

当該線区を担当する乗務員職場からは、

- 運転士による出区点検時には異常が見受けられなかったこと

- 乗務員交代の際の目送<sup>\*</sup>が廃止されていないければもつと早期に気付けた可能性があること

などが指摘されています。また「三鷹車両センター」は横に並ぶ留置車両と留置車両の間隔が極端に狭く、背の高い運転士以外はパンタグラフ全体の目視は極めて困難」との声も上がっています。

今回、三鷹駅付近で架線設備の不具合も見つかっていることから、JR東日本は早急な原因究明と安全を第一とした再発防止策を講じるべきです。

※乗務員交代時の目送（担当してきた乗務員が車両に異常がないか確認しながら発車を見送ること）は、JR東日本会社が「車両故障の減少」などを理由に数年前に廃止した

原因究明と安全を第一に考えた再発防止を!